

静岡県月例経済報告

(平成29年8月号)

……平成29年6月を中心とした県内経済のすがた……

No. 496

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	13
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成29年6月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

平成29年6月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつある。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

需 要 面

◎個人消費は、緩やかに持ち直している。

大型小売店販売額(6月)は、スーパーが2か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店が3か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも、2か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(6月)は、家電大型専門店が4か月ぶり、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが12か月連続、ドラッグストアが4か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(6月)は、乗用車が11か月連続、軽自動車が4か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも8か月連続で前年実績を上回った。

◎住宅建設は、前年を上回った。

新設住宅着工戸数(6月)は、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家が3か月連続、貸家が6か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。

◎公共投資は、前年を上回った。

公共工事請負金額(6月)は、7か月連続で前年実績を上回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成29年7月3日)の平成29年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加の計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(6月)は、3か月連続で前年実績を上回った。

◎輸出は、持ち直している。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額（6月）は、自動車の部分品が2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が3か月連続、エアコンが2か月連続、自動車は8か月連続、二輪自動車類が6か月連続、科学光学機器が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも8か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（6月）は、紙類及び同製品、原動機が前年実績を下回ったものの、パルプや自動車の部分品などで前年実績を上回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、914億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数（5月）は、食料品・たばこが9か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が5か月ぶり、電気機械が2か月ぶり、輸送機械が6か月連続、化学が8か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が2か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも5か月連続で前年水準を上回った。また、2か月ぶりに前月を下回った。

なお、鉱工業在庫指数（5月）は、総合では9か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（6月）は1.57倍で、前月を0.03ポイント上回り、また、41か月連続で1倍を上回った。なお、4か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（6月）は、47か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（5月）は、前年と同水準だった。

その他

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高（6月）は、前年同月比2.3%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（6月）は、前年同月比16.7%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を下回った。

企業倒産（7月）は、件数は27件で前年同月比25.0%減、負債総額は同62.8%減と、いずれも前年実績を下回った。

〈県の取組〉「第1回 静岡県産材を知るツアー」を開催しました

県は、平成29年8月21日（月）、22日（火）の2日間、東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設への県産材の利用に向け、木材調達等を担うバイヤーを都内から招聘し、県産材をアピールする「第1回 静岡県産材を知るツアー」を開催しました。招聘したバイヤーは、本県の森林認証材の供給力や強度などの品質に高い関心を示したほか、県内製材企業とも活発な意見交換が行われ、今後、東京オリンピック・パラリンピック関連施設への県産材の利用拡大が期待されます。

8月21日

このはなアリーナ視察



8月22日

CoC大井川グループ視察
(製材所)



1 概要

- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設の内装への県産材の利用に向け、昨年度の集成材メーカーに引き続き、今年度は施設の内装デザインや木材調達に携わるバイヤーを招聘。
- ・県産材を使った建築物や製材工場の見学などにより、県産材の供給力や品質などをアピールし、県内企業等とのマッチングを促進。

2 日程

平成29年8月21日（月）、22日（火）（※ 第2回を8月30日～31日に開催）

3 内容

(1) 8月21日（月）

- ア 静岡県草薙総合運動場体育館（このはなアリーナ）視察
- イ バイヤーと県内企業等との個別打合せ（Den bill 2階 会議室）

(2) 8月22日（火）

- ア オクシズネット（静岡地域の製材工場）視察コース
株式会社丸吉木材（静岡市葵区平和）、協業組合ジャパンウッド（静岡市葵区内牧）
- イ CoC大井川グループ（大井川地域の製材工場）視察コース
株式会社柳川製材所（島田市牛尾）

4 招聘したバイヤー

施設内装デザイン・設計・施工企業（都内）の木材調達に携わるバイヤー 4社

5 県内参加企業

県内6地域の製材工場等のネットワークに属する企業等

（オクシズネット、COC大井川グループ、天竜材水平連携協議会など15社）

6 問合わせ先

静岡県経済産業部森林・林業局林業振興課（県産材利用班）

電話 054-221-2691

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

6 月 = 33,274百万円

*前年同月比： 0.1%増

(県内3百貨店、132スーパー合計)

<概況>

6月の大型小売店販売額は33,274百万円で、前年同月比0.1%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、スーパー(前年同月比0.5%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店(同2.5%増)が3か月連続で前年実績を上回ったことから、総合でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、身の回り品(前年同月比0.3%増)が4か月連続、飲食料品(同0.3%増)が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品(同3.3%減)、家庭用品(同2.6%減)がいずれも7か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.2%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額(百万円)	34,265	42,002	36,340	30,575	33,793	33,040	34,010	33,274
前年同月比(%)	2.5	▲0.9	▲0.3	▲3.1	▲0.9	0.5	▲0.3	0.1
うち百貨店(%)	▲0.7	▲0.7	0.1	▲3.9	▲0.5	1.9	4.0	2.5
スーパー(%)	3.4	▲0.9	▲0.4	▲2.9	▲1.0	0.1	▲1.3	▲0.5
(参考1)全国前年同月比(%)	▲0.3	▲1.3	▲1.1	▲2.7	▲0.8	1.1	▲0.6	0.2
うち百貨店(%)	▲2.7	▲2.0	▲1.2	▲1.8	▲0.7	1.0	0.1	1.5
スーパー(%)	1.1	▲0.9	▲1.1	▲3.1	▲0.9	1.1	▲0.9	▲0.4
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	1.4	▲1.9	▲1.9	▲4.7	▲1.7	0.3	▲0.2	▲0.2

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
衣料品	4.9	▲2.6	▲1.2	▲6.9	▲5.8	▲1.3	▲1.8	▲3.3
うち紳士服・洋品	9.9	1.6	2.9	▲7.0	▲13.6	▲7.1	▲4.7	▲4.6
婦人・子供服・洋品	3.0	▲3.9	▲2.5	▲6.8	▲3.9	1.1	▲0.7	▲2.2
身の回り品	▲0.9	0.1	0.2	▲5.4	0.8	2.8	0.7	0.3
飲食料品	2.8	0.2	0.1	▲2.2	▲1.0	0.7	▲0.1	0.3
家庭用品	2.8	▲5.0	▲4.3	▲6.7	▲7.1	▲3.6	▲6.1	▲2.6
うち家庭用電気機械器具	4.5	▲7.4	▲6.0	▲8.6	▲20.2	▲12.3	▲21.4	▲10.5

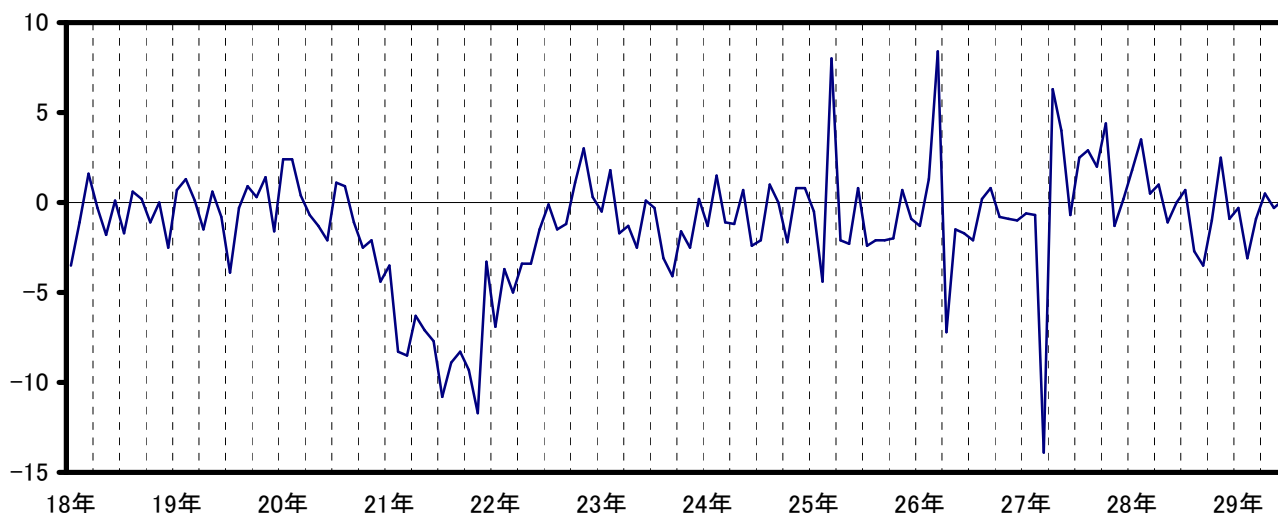
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

6月 = 6,010百万円

*前年同月比： 2.6%増

(県内3百貨店販売額)

<概況>

6月の県内3百貨店の販売額は6,010百万円で、前年同月比 2.6%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

品目別にみると、衣料品（前年同月比 1.6%減）が3か月ぶり、家庭用品（同 2.8%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、身の回り品（同 1.2%増）が4か月連続、食料品（同 0.6%増）が2か月連続、雑貨（同 17.0%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額（百万円）	6,522	8,966	6,985	5,327	6,798	5,838	6,015	6,010
前年同月比（%）	▲ 0.6	▲ 0.7	0.2	▲ 3.8	▲ 0.4	2.0	3.9	2.6
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 2.4	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 1.7	▲ 0.9	0.7	0.0	1.4

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

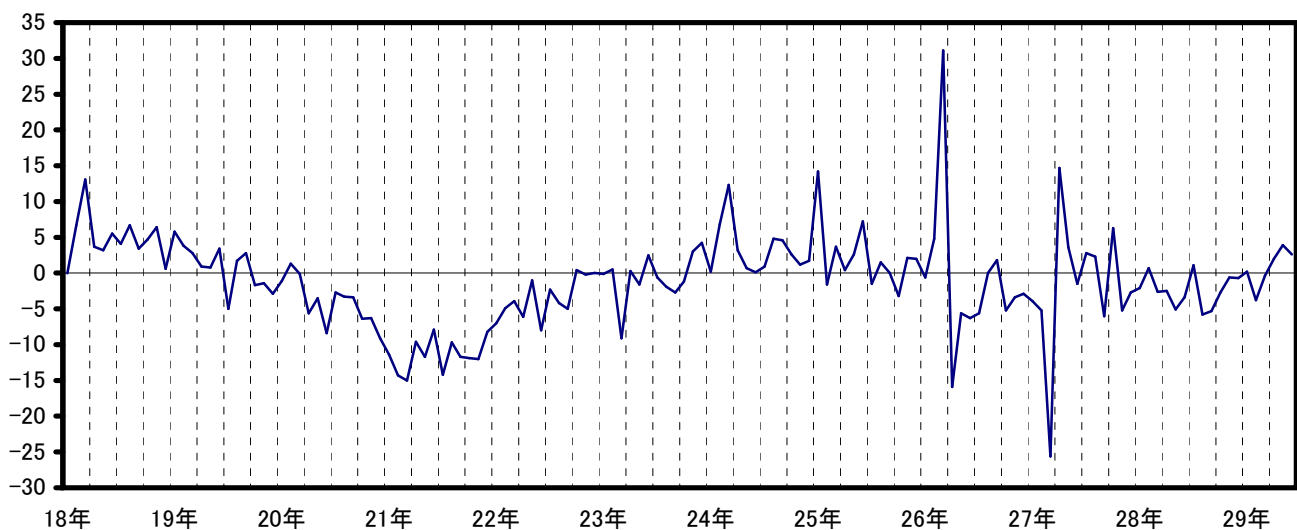
	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
衣料品	▲ 2.2	▲ 3.8	▲ 2.5	▲ 7.3	▲ 6.8	1.5	0.4	▲ 1.6
うち紳士服・洋品	▲ 4.0	▲ 5.5	▲ 2.4	▲ 5.3	▲ 14.6	0.4	▲ 6.0	▲ 2.6
婦人服・洋品	▲ 1.5	▲ 3.3	▲ 2.0	▲ 8.3	▲ 5.5	1.8	1.8	▲ 0.9
子供服・洋品	▲ 4.2	▲ 4.7	▲ 7.3	▲ 3.5	▲ 7.7	▲ 0.2	▲ 0.6	11.1
身の回り品	4.3	5.9	6.3	▲ 2.1	3.0	4.4	4.1	1.2
家庭用品	2.6	0.8	▲ 6.5	▲ 7.5	▲ 8.7	▲ 1.5	▲ 2.7	▲ 2.8
食料品	0.5	▲ 0.3	▲ 4.8	▲ 3.0	0.4	▲ 2.4	6.1	0.6
雑貨	▲ 0.7	1.6	13.2	2.8	14.8	10.3	10.5	17.0
うち美術・宝飾・貴金属	▲ 6.9	▲ 18.0	24.1	▲ 9.3	13.6	11.7	24.4	23.3

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

6月 = 64,855百万円

*前年同月比： 2.1%増

(県内92家電大型専門店、1,757コンビニエンスストア、457ドラッグストア、102ホームセンター合計)

<概況>

6月の専門量販店等販売額は64,855百万円で、前年同月比 2.1%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 3.4%減）が4か月ぶり、ホームセンター（同 1.6%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア（同 2.4%増）が12か月連続、ドラッグストア（同 5.6%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額(百万円)	62,796	73,732	63,347	57,543	67,348	64,824	67,888	64,855
前年同月比(%)	2.4	2.0	2.7	▲0.1	3.2	4.0	3.7	2.1
うち 家電大型専門店(%)	▲0.7	▲1.9	▲2.0	▲0.4	2.1	6.0	2.5	▲3.4
コンビニエンスストア(%)	3.2	3.8	3.5	0.7	3.4	2.9	2.9	2.4
ドラッグストア(%)	2.6	4.6	4.4	0.0	5.3	7.0	6.5	5.6
ホームセンター(%)	1.7	▲3.8	2.0	▲2.9	▲0.8	▲0.2	1.7	▲1.6
(参考)全国前年同月比(%)	2.6	2.3	2.7	0.4	3.1	3.9	3.1	2.3

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

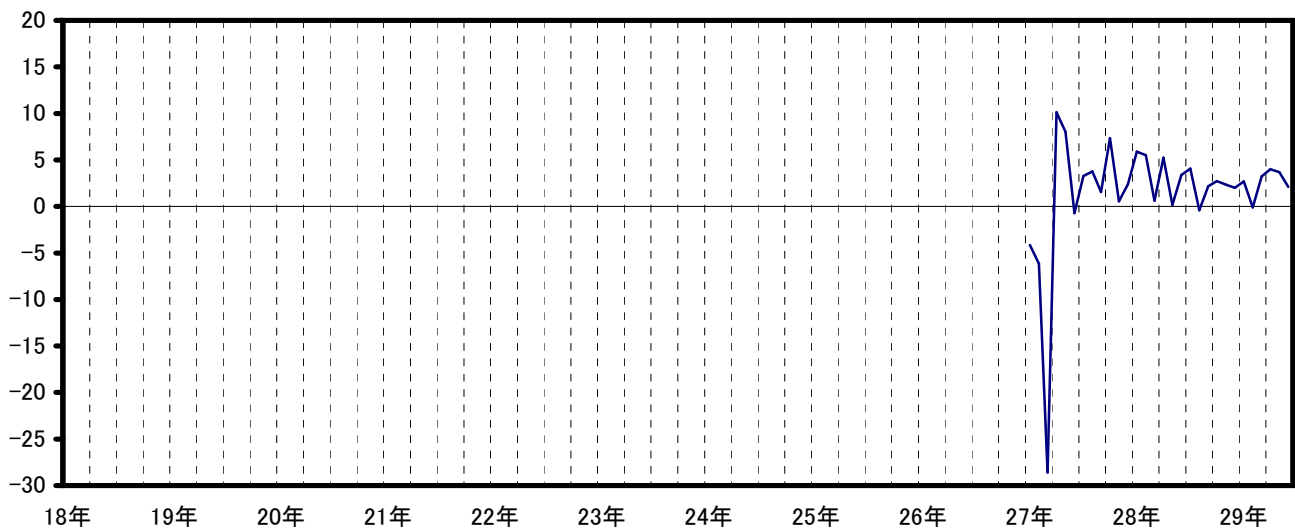
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(4) 自動車(新車)新規登録台数

6月 = 16,106台

*前年同月比：13.4%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

6月の自動車(新車)新規登録台数は16,106台(前年同月比13.4%増)となり、8か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比14.7%増)が11か月連続、軽自動車(同11.5%増)が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
登録台数(台)	13,638	13,544	14,916	17,905	24,398	11,763	12,394	16,106
前年同月比(%)	4.6	2.7	1.1	4.0	10.7	12.8	10.7	13.4
(参考)全国前年同月比(%)	8.8	8.1	4.4	8.2	9.6	10.4	13.4	15.1

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

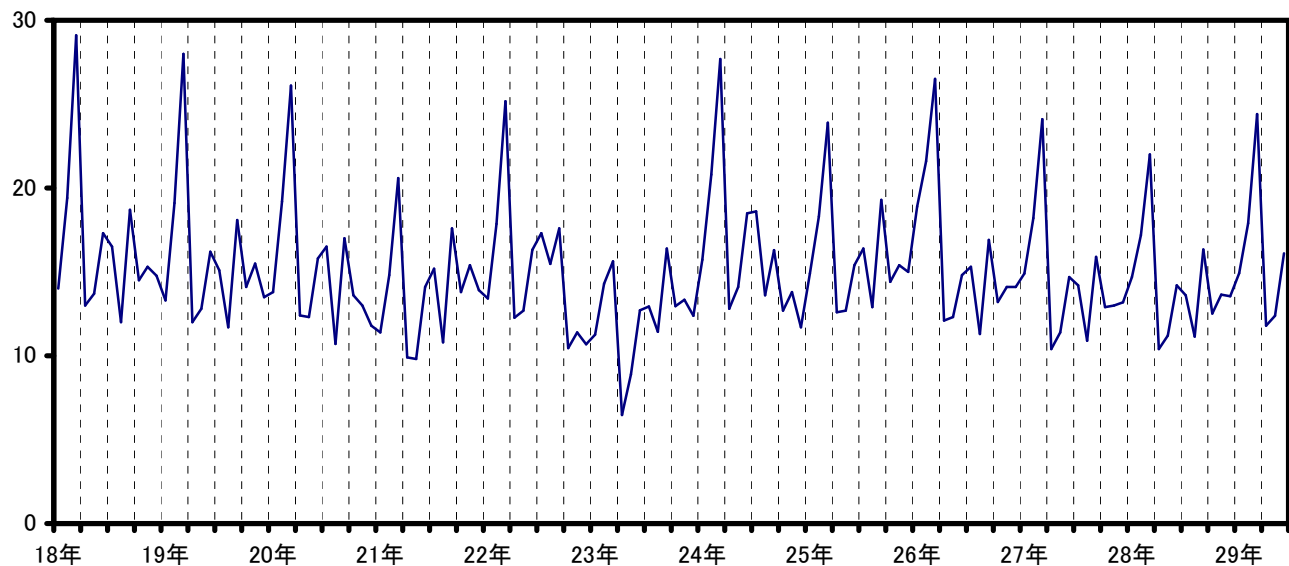
	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全乗用車	4.6	2.7	1.1	4.0	10.7	12.8	10.7	13.4
乗用車	11.7	8.7	9.9	10.5	17.5	7.9	7.1	14.7
軽自動車	▲3.8	▲4.8	▲9.1	▲3.3	2.3	19.5	15.8	11.5

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

6月 = 2,208 戸

*前年同月比： 0.6%増

<概況>

6月の新設住宅着工戸数は2,208戸で、前年同月比 0.6%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 17.9%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家（同 8.0%増）が3か月連続、貸家（同 8.5%増）が6か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

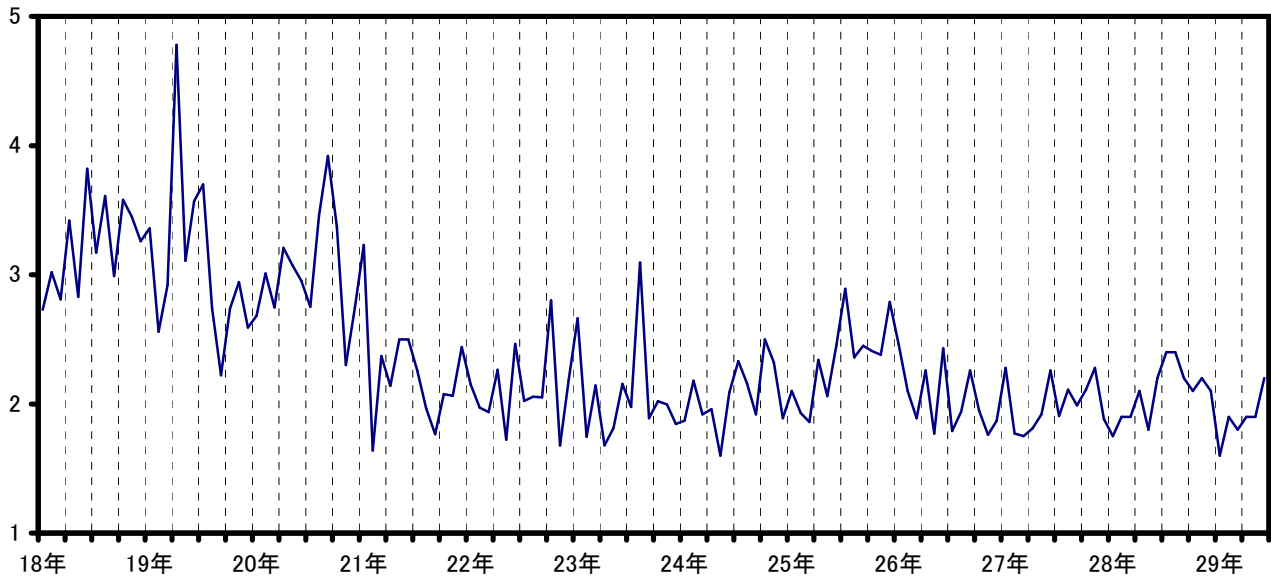
	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
戸数（戸）	2,213	2,073	1,645	1,931	1,806	1,883	1,937	2,208
前年同月比（%）	▲ 2.9	10.1	▲ 6.2	1.9	▲ 4.2	▲ 10.2	6.6	0.6
うち持家（%）	▲ 14.5	7.3	▲ 2.4	28.5	▲ 13.3	3.4	13.0	8.0
貸家（%）	19.4	28.0	▲ 24.7	▲ 5.7	▲ 27.6	▲ 15.6	▲ 4.0	8.5
分譲住宅（%）	▲ 3.6	▲ 1.3	32.0	▲ 38.9	94.0	▲ 32.8	13.3	▲ 17.9
(参考)全国前年同月比（%）	6.7	3.9	12.8	▲ 2.6	0.2	1.9	▲ 0.3	1.7

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

6 月 = 32,699百万円

* 前年同月比： 43.8%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

6月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は32,699百万円で、前年同月比 43.8%増となり、7か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は721件で、前年同月比 14.3%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
金額（百万円）	14,204	16,623	10,454	12,463	16,089	55,088	20,047	32,699
前年同月比（%）	▲ 10.0	8.2	16.6	91.7	7.2	9.3	4.9	43.8
年度累計前年同月比（%）	3.9	4.2	4.6	6.8	6.9	9.3	8.1	16.9
件数（件）	657	772	434	321	235	495	467	721
前年同月比（%）	▲ 11.7	▲ 4.1	▲ 1.6	101.9	40.7	3.6	18.8	14.3
年度累計前年同月比（%）	1.2	0.6	0.4	2.7	3.5	3.6	10.4	12.1

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

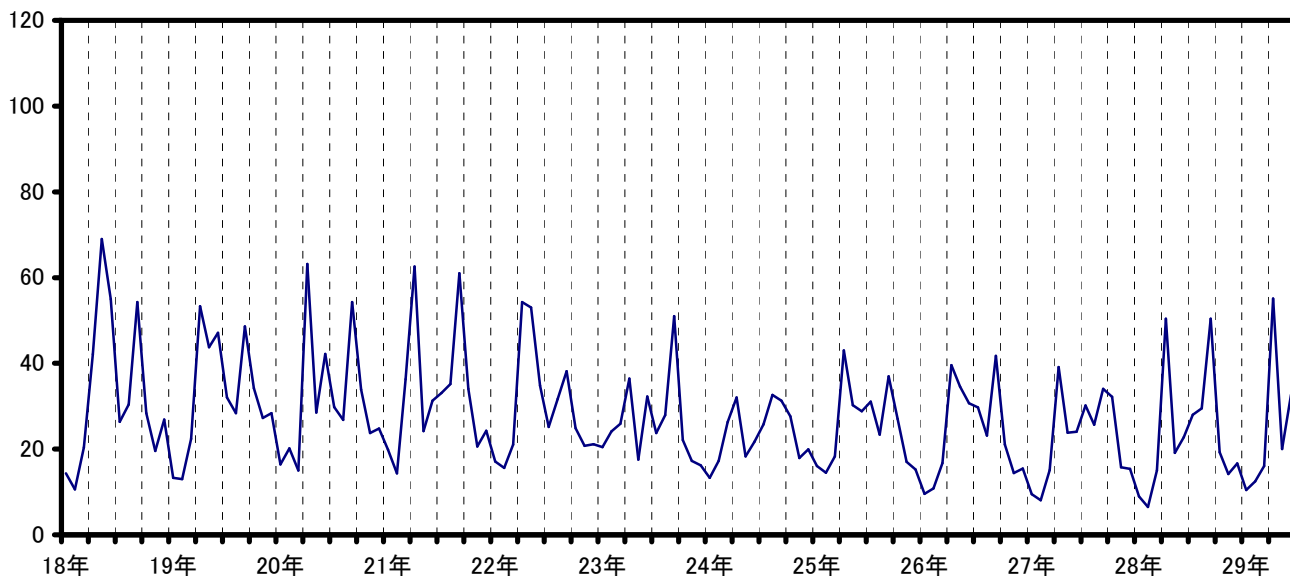
	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
国	▲ 35.0	54.0	110.8	34.6	▲ 0.7	▲ 38.2	53.6	135.1
独立行政法人等	291.0	649.2	72.5	17.1	▲ 92.2	208.8	▲ 71.2	98.0
県	5.5	▲ 24.0	19.1	519.7	184.2	30.6	105.1	▲ 7.3
市 町	▲ 20.6	12.7	▲ 23.0	7.3	7.9	▲ 17.8	5.8	38.0
地方公社	▲ 62.4	8.7	—	—	—	123.4	▲ 96.0	—
その他	▲ 10.3	▲ 0.3	197.5	▲ 21.3	50.9	▲ 74.8	▲ 107.0	17.9

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成28年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業、全産業では減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも減少した。

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 23.2%増）で増加、非製造業（同 0.2%減）で減少し、全産業（同 12.6%増）では増加の計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 17.6%増）、非製造業（同 2.6%増）、全産業（同 13.8%増）のいずれも増加の計画となっている。

6月の着工建築物床面積（非居住用）は176,342㎡で、前年同月比 77.4%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%） 設備投資（含む土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	(▲2.7) ▲0.5	(4.0) 12.6
	全国	(0.0) 0.4	(4.3) 2.9
製造業	県	(▲5.7) 0.1	(3.3) 23.2
	全国	(0.5) 2.6	(6.5) 10.7
非製造業	県	(1.0) ▲1.2	(5.0) ▲0.2
	全国	(▲0.2) ▲0.7	(3.1) ▲1.2

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	(▲2.3) ▲0.6	(5.6) 13.8
	全国	(▲0.8) 0.3	(3.3) 5.7
製造業	県	(▲3.1) ▲0.4	(6.3) 17.6
	全国	(▲0.8) 0.6	(3.2) 7.9
非製造業	県	(0.3) ▲1.3	(3.4) 2.6
	全国	(▲0.7) 0.0	(3.4) 3.4

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成29年6月調査)」

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	142,379	107,916	154,653	82,466	89,233	149,936	145,007	176,342
前年同月比（%）	29.2	24.3	7.6	▲0.6	▲42.2	66.6	115.2	77.4
(参考) 全国前年同月比（%）	10.4	5.4	21.9	8.1	▲12.5	19.3	▲11.0	2.7

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		29年3月	29年6月	29年9月 (予測)
全産業	全産業	12	12	7
	製造業	13	16	12
	非製造業	12	8	3
(参考) 全国・全産業		10	12	8

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年6月調査)」

5 輸出

6月 = 174,965百万円

*前年同月比： 12.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸出総額は174,965百万円で、前年同月比 12.1%増となり、8か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 2.6%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 2.1%増）が3か月連続、エアコン（同 7.4%増）が2か月連続、自動車（同 83.6%増）が8か月連続、二輪自動車類（同 18.9%増）が6か月連続、科学光学機器（同 0.4%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 8.1%増）が8か月連続、EU向け（同 48.6%増）が6か月連続で前年実績を上回った。米国向けは前年と同水準だった。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出総額(百万円)	163,368	188,982	149,185	182,936	197,411	191,420	149,761	174,965
前年同月比(%)	5.9	5.3	3.9	8.3	10.1	14.6	7.4	12.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
原動機	11.8	6.1	▲ 8.5	▲ 9.3	▲ 2.5	5.1	6.8	2.1
エアコン	▲ 3.4	▲ 12.1	4.3	6.8	15.8	▲ 5.9	14.4	7.4
自動車	26.8	65.0	66.5	196.7	135.7	139.7	44.1	83.6
自動車の部分品	15.4	10.2	12.0	10.0	0.9	10.0	▲ 8.7	▲ 2.6
二輪自動車類	16.5	▲ 0.8	3.0	6.2	5.0	26.9	30.4	18.9
科学光学機器	▲ 5.6	6.7	▲ 6.6	16.1	▲ 14.2	4.8	▲ 4.8	0.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	11.2	10.2	7.8	15.1	16.5	14.2	14.7	8.1
米国	▲ 7.3	13.3	▲ 8.4	▲ 14.6	▲ 0.1	0.2	3.2	0.0
EU	32.2	0.0	24.9	49.9	19.6	40.5	2.9	48.6

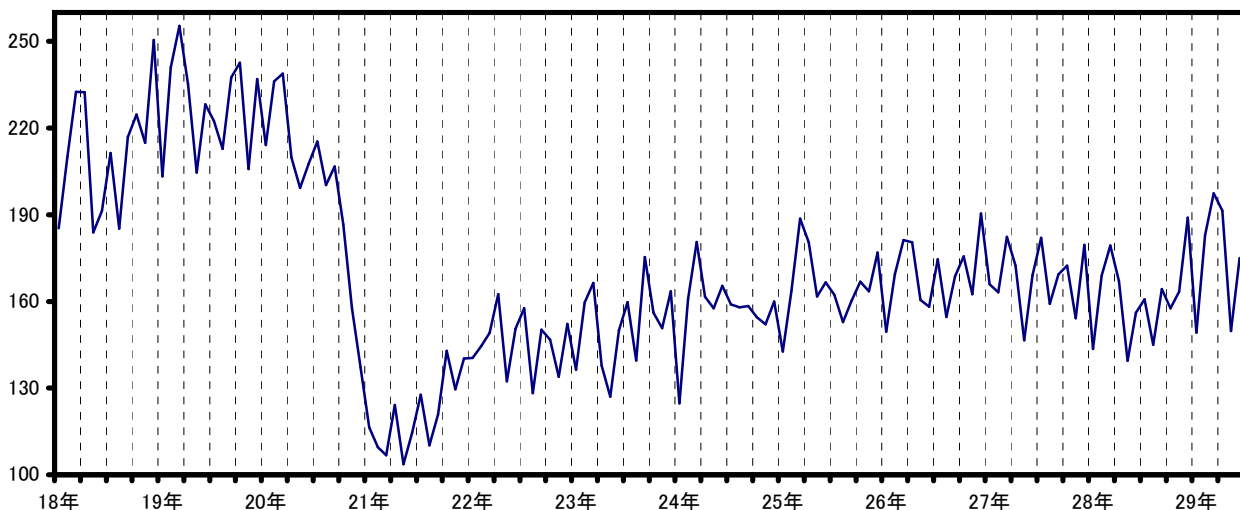
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

6 月 = 83,543百万円

*前年同月比： 17.9%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸入総額は83,543百万円で、前年同月比 17.9%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 36.5%減）、原動機（同 37.6%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類（同 69.1%増）、木材（同 13.7%増）がいずれも2か月ぶり、パルプ（同 5.5%増）が5か月連続、自動車の部分品（同 12.1%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、米国から（前年同月比 9.7%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジアから（同 23.8%増）が4か月連続、EUから（同 31.1%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸入総額(百万円)	81,755	77,184	84,538	71,963	90,662	78,666	80,305	83,543
前年同月比(%)	0.2	▲ 1.5	▲ 2.5	▲ 5.7	16.7	11.3	1.7	17.9

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
魚介類	—	—	▲ 4.9	3.7	20.2	8.6	▲ 31.2	69.1
木材	▲ 30.0	▲ 16.0	▲ 9.5	▲ 11.3	20.6	9.7	▲ 4.4	13.7
パルプ	▲ 46.8	▲ 6.7	▲ 11.1	5.6	28.8	21.3	55.2	5.5
紙類及び同製品	2.6	23.2	▲ 3.0	▲ 32.2	▲ 20.3	98.7	▲ 17.2	▲ 36.5
原動機	15.8	76.1	58.1	180.2	▲ 29.5	85.0	▲ 50.4	▲ 37.6
自動車の部分品	13.5	▲ 7.9	▲ 29.1	▲ 8.6	23.7	19.0	33.2	12.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

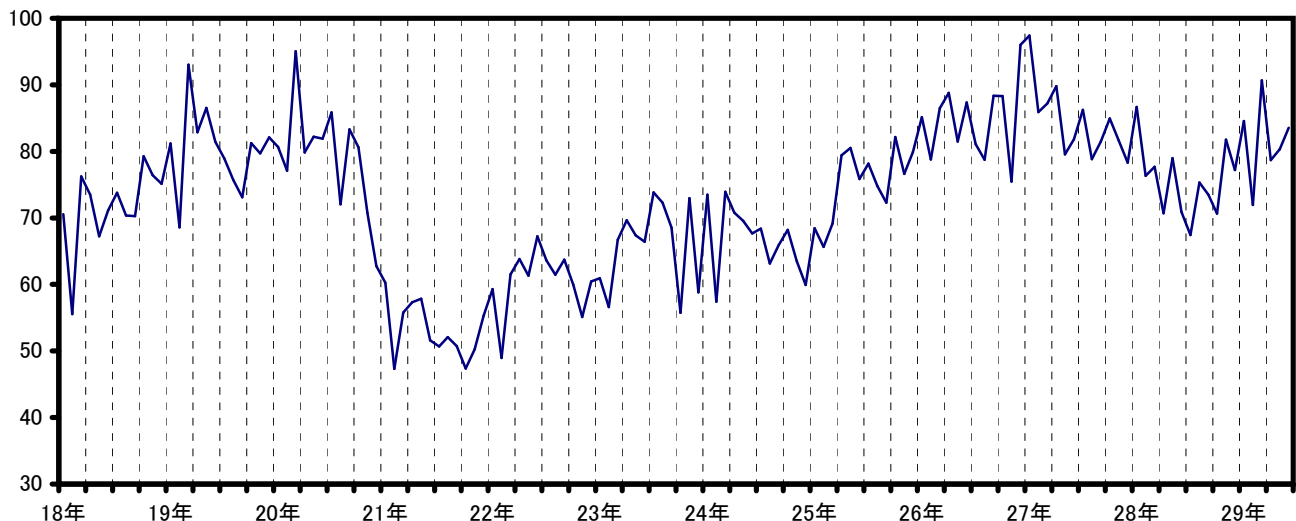
	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	▲ 5.9	4.4	▲ 0.3	▲ 14.5	13.4	4.0	10.6	23.8
米国	▲ 28.2	17.5	▲ 17.1	11.5	▲ 19.8	18.3	▲ 10.5	▲ 9.7
EU	6.1	▲ 10.4	▲ 12.6	38.5	9.7	35.7	18.7	31.1

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

5月 = 89.3

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 5.8%減

*前年同月比(原指数) : 4.6%増

<概況>

5月の鉱工業生産指数(総合)は89.3(季節調整済指数)で、前月比5.8%減となり、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は4.6%増と5か月連続で前年を上回った。業種別にみると、食料品・たばこ(前年同月比4.1%減)が9か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同4.8%増)が5か月ぶり、電気機械(同6.6%増)が2か月ぶり、輸送機械(同7.2%増)が6か月連続、化学(同9.2%増)が8か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同3.4%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
指数	86.9	89.3	92.5	92.6	94.3	93.9	94.8	89.3
前月比(%)	▲3.1	2.8	3.6	0.1	1.8	▲0.4	1.0	▲5.8
前年同月比(%)	▲5.8	▲0.9	▲4.4	3.4	4.3	5.1	0.4	4.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.3	4.6	3.0	3.2	4.8	3.3	5.7	6.8

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲12.5	▲5.9	3.1	▲2.4	▲1.8	▲7.2	▲7.6	4.8
電気機械工業	▲9.6	3.2	7.0	9.7	11.4	3.4	▲3.1	6.6
輸送機械工業	▲9.5	▲0.3	3.7	12.7	21.8	38.4	11.8	7.2
化学工業	▲1.8	▲4.6	▲31.2	▲5.3	▲8.0	▲14.2	▲6.2	9.2
パルプ・紙・紙加工品工業	▲1.0	▲3.7	▲3.0	▲1.8	▲2.4	▲0.4	1.9	3.4
食料品・たばこ工業	▲5.2	▲3.8	▲10.2	▲6.2	▲10.9	▲13.9	▲9.6	▲4.1

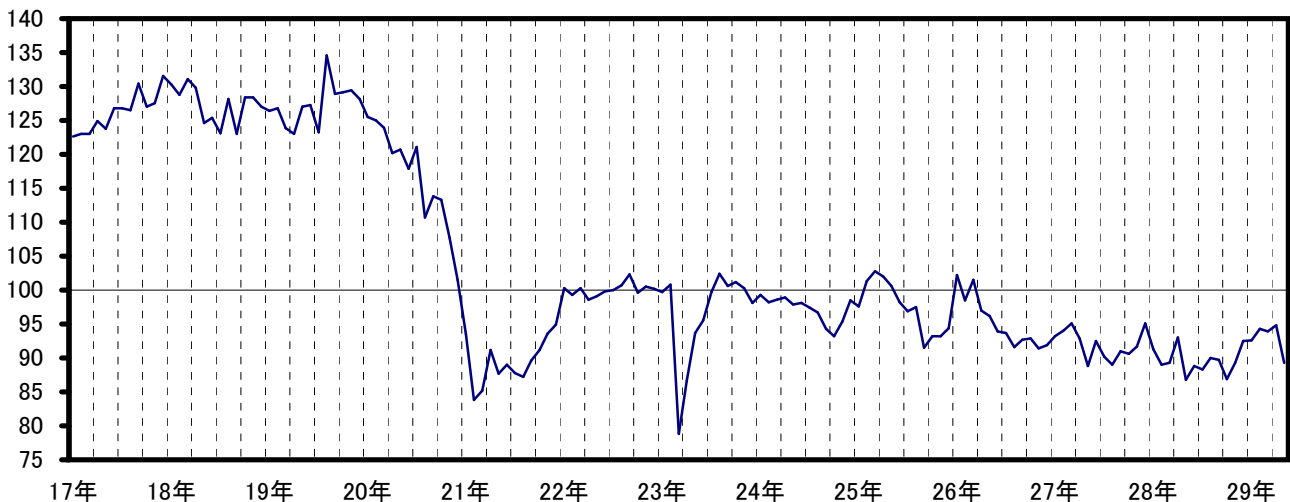
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

5月 = 117.3

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.6%減

*前年同月比(原指数) : 0.8%減

<概況>

5月の鋳工業在庫指数(総合)は117.3(季節調整済指数)で、前月比は2.6%減と2か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は0.8%減と9か月連続で前年を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比3.5%増)が14か月連続、輸送機械(同7.8%増)が3か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.0%増)、食料品・たばこ(同5.2%増)がいずれも2か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同3.6%減)、化学(同5.4%減)がいずれも9か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
指数	114.7	112.8	109.2	114.0	122.7	123.1	120.4	117.3
前月比(%)	▲0.9	▲1.7	▲3.2	4.4	7.6	0.3	▲2.2	▲2.6
前年同月比(%)	▲4.8	▲7.3	▲11.3	▲6.2	▲1.9	▲2.2	▲1.3	▲0.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.0	▲4.8	▲5.0	▲4.3	▲3.3	▲3.9	▲1.1	▲1.2

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	7.1	13.0	18.7	15.9	9.1	15.5	0.9	3.5
電気機械工業	▲16.5	▲20.8	▲18.2	▲18.0	▲15.4	▲17.5	▲8.7	▲3.6
輸送機械工業	▲42.2	▲46.9	▲51.6	▲30.8	▲12.4	7.2	9.0	7.8
化学工業	▲3.5	▲4.2	▲12.6	▲8.9	▲3.3	▲9.8	▲4.6	▲5.4
パルプ・紙・紙加工品工業	7.2	0.5	▲1.4	▲2.7	▲0.4	0.0	3.0	1.0
食料品・たばこ工業	▲3.5	▲7.2	▲7.3	2.1	4.2	▲0.6	2.1	5.2

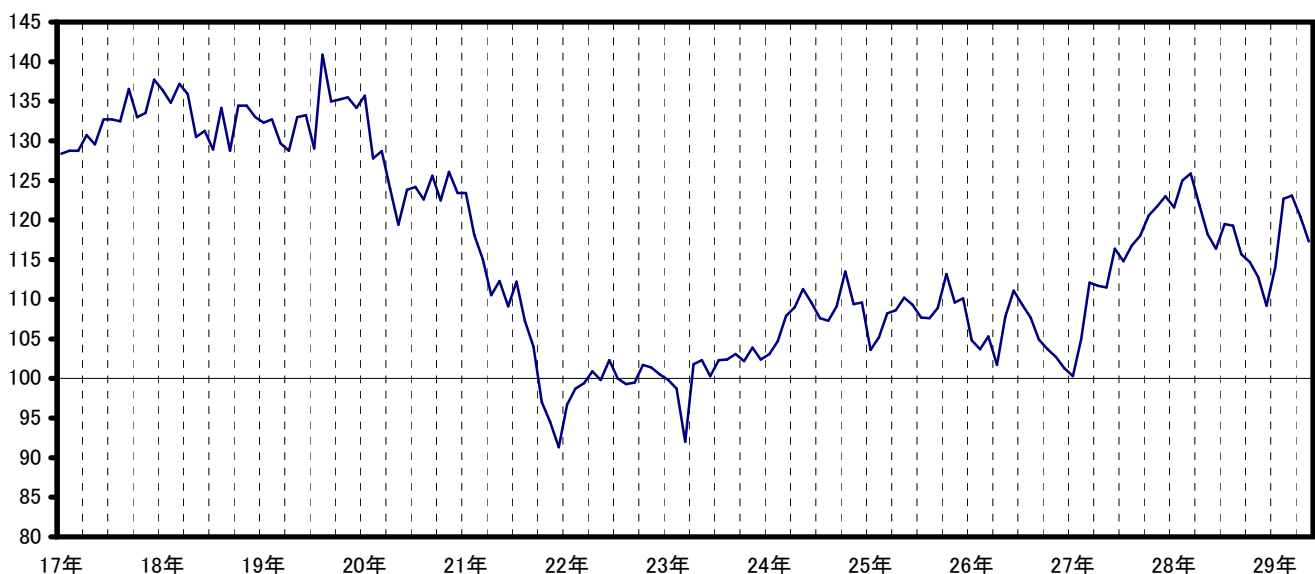
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

6 月 = 1.57倍

*前月比（季節調整値）：0.03ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

6月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.57倍となり、前月を0.03ポイント上回った。また、4か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比13.4%増）は17か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業（前年同月比15.8%減）が4か月ぶり、卸売業・小売業（同9.2%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業（同11.7%増）が17か月連続、製造業（同33.2%増）が20か月連続、運輸業・郵便業（同8.0%増）が8か月連続、医療・福祉（同14.7%増）が10か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同21.6%増）が16か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
県	1.40	1.41	1.43	1.42	1.47	1.51	1.54	1.57
全 国	1.41	1.43	1.43	1.43	1.45	1.48	1.49	1.51

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建 設 業	14.3	5.6	13.5	15.7	11.4	10.5	15.2	11.7
製 造 業	15.7	16.5	12.0	12.0	14.9	7.4	21.8	33.2
情 報 通 信 業	▲13.2	2.2	▲19.8	▲12.7	9.4	4.5	16.4	▲15.8
運 輸 業 ・ 郵 便 業	18.8	1.0	17.1	16.8	2.3	15.9	13.8	8.0
卸 売 業 ・ 小 売 業	2.6	▲5.0	4.9	▲2.7	▲9.6	▲3.5	▲6.2	▲9.2
医 療 ・ 福 祉	10.2	7.2	9.4	5.1	10.9	1.8	16.1	14.7
サービス業（他に分類されないもの）	62.7	21.6	15.9	32.9	14.3	16.5	24.5	21.6
合 計	16.4	9.0	10.3	9.2	6.6	8.3	12.3	13.4

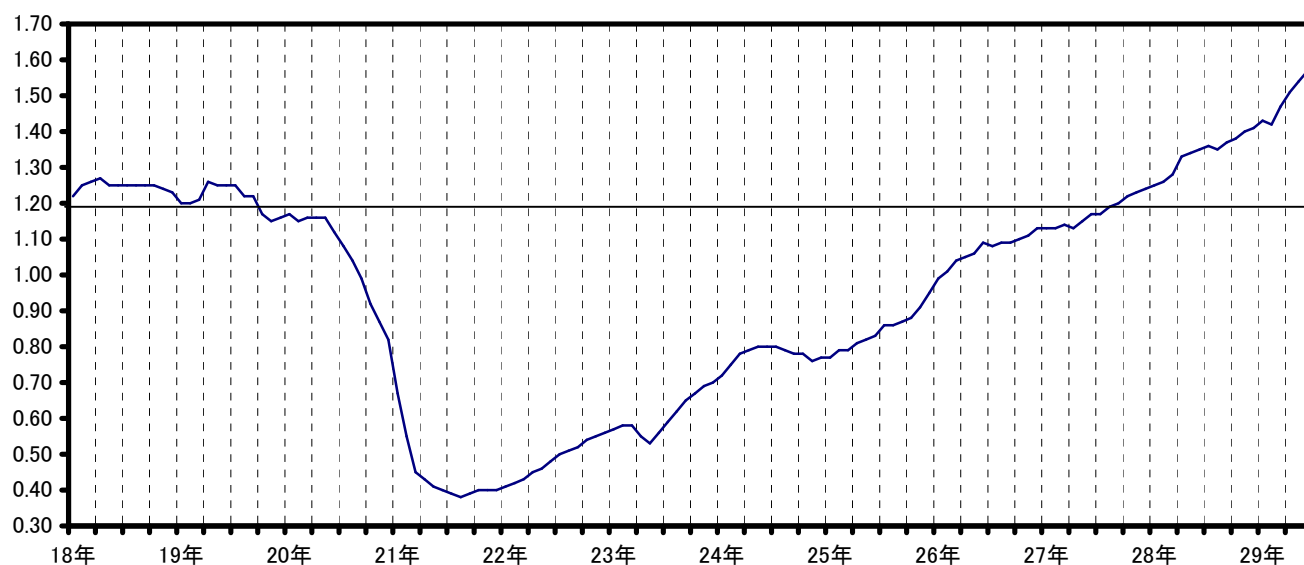
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

6月 = 11,025人

*前月比: 1.2%増

*前年同月比: 11.9%減

<概況>

6月の雇用保険受給者実人員は11,025人で、前月比は1.2%増と2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は11.9%減と47か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.8%で、前月から0.3ポイント改善した。

静岡県(平成29年1~3月)の完全失業率は2.3%で、前期(28年10~12月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
実人員(人)	11,593	10,924	10,725	10,163	10,036	9,531	10,897	11,025
前月比(%)	▲4.7	▲5.8	▲1.8	▲5.2	▲1.2	▲5.0	14.3	1.2
前年同月比(%)	▲10.8	▲11.3	▲14.4	▲15.6	▲14.0	▲14.2	▲8.8	▲11.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲7.9	▲9.3	▲8.6	▲9.5	▲7.7	▲8.5	▲3.7	▲7.8

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完全失業率(全国)(%)	3.1	3.1	3.0	2.8	2.8	2.8	3.1	2.8

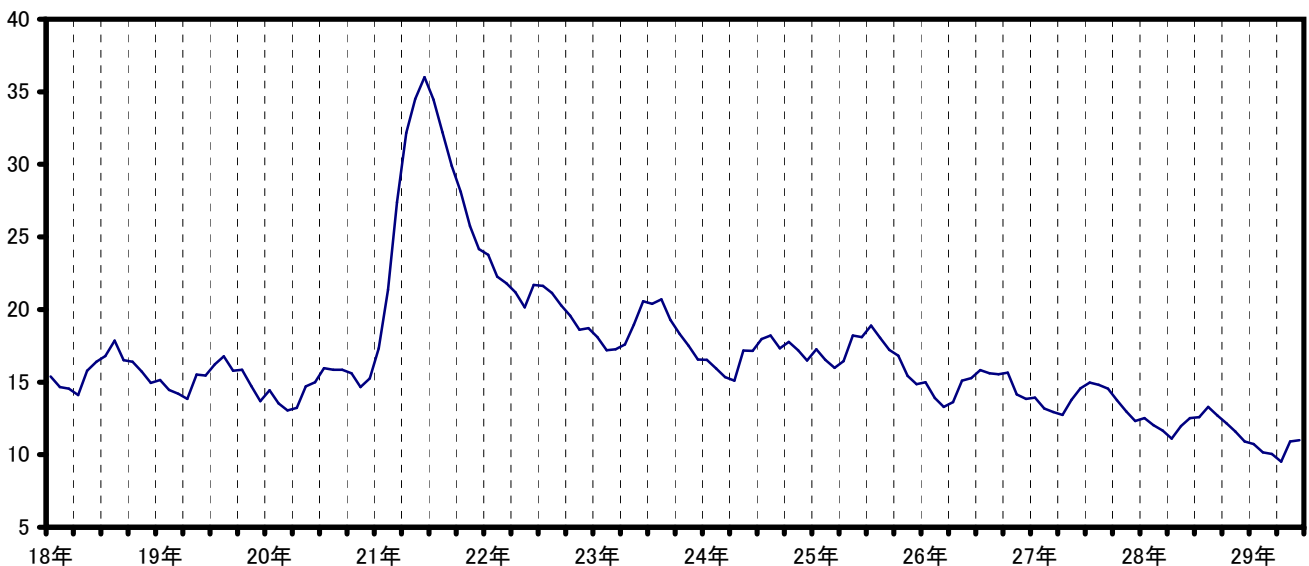
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

5月 = 104.7

*前月比(季節調整済指数): 1.1%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 同水準

<概況>

5月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は104.7(季節調整済指数)で、前月比1.1%増となった。また、前年同月比(原指数)は同水準だった。

業種別にみると、建設業(前年同月比19.5%増)が7か月ぶり、製造業(同8.4%増)が4か月連続で前年実績を上回ったものの、情報通信業(同1.2%減)が2か月連続、運輸業・郵便業(同1.7%減)、医療・福祉(同3.0%減)がいずれも3か月連続、卸売業・小売業(同13.5%減)が11か月連続、その他のサービス業(同22.5%減)が6か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
指数	102.7	101.3	99.8	99.0	103.2	102.0	103.6	104.7
前月比(%)	1.1	▲1.4	▲1.5	▲0.8	4.2	▲1.2	1.6	1.1
前年同月比(%)	0.7	▲1.4	▲0.7	▲1.4	0.7	2.1	0.0	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.5	▲1.5	▲2.2	▲0.2	0.6	▲0.9	▲0.9	0.6

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
建設業	15.4	▲5.1	▲14.7	▲19.4	▲14.4	▲10.6	▲22.3	19.5
製造業	▲4.5	▲5.9	2.6	▲0.2	4.8	13.2	5.0	8.4
情報通信業	▲10.9	▲8.4	▲6.1	▲1.1	0.1	1.2	▲4.2	▲1.2
運輸業・郵便業	▲5.3	▲6.9	▲6.5	5.1	1.7	▲1.6	▲2.8	▲1.7
卸売業・小売業	▲31.1	▲34.2	▲24.7	▲13.5	▲23.1	▲25.7	▲14.1	▲13.5
医療・福祉	▲7.2	▲23.5	7.0	3.4	14.4	▲8.0	▲10.1	▲3.0
その他のサービス業	5.3	11.8	▲6.3	▲27.9	▲23.6	▲10.5	▲26.9	▲22.5
調査産業計	0.7	▲1.4	▲0.7	▲1.4	0.7	2.1	0.0	0.0

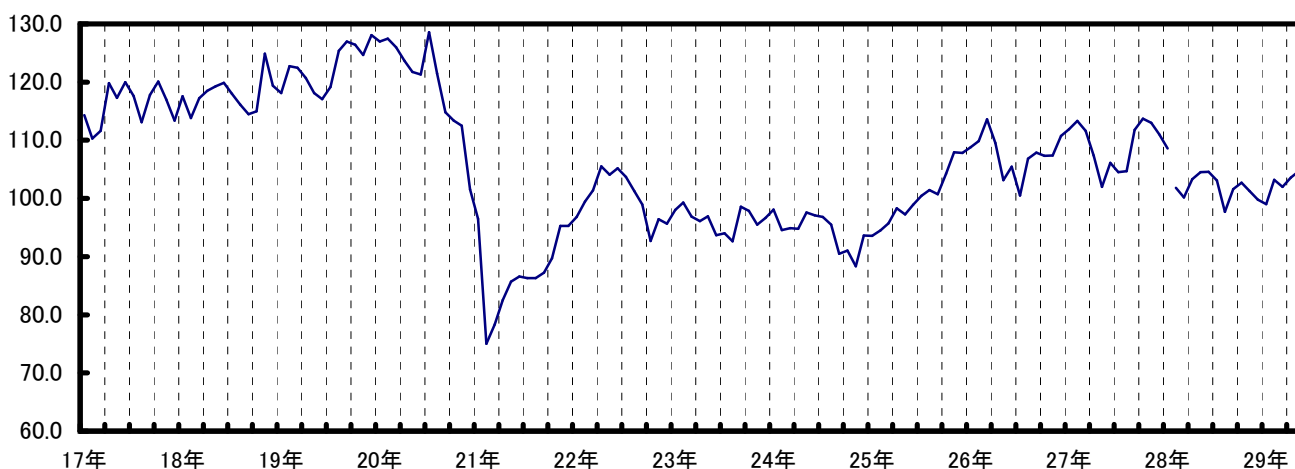
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

7 月 = 98.8

*前 月 比: 0.3%上昇

(平成27年=100)

*前年同月比: 2.6%上昇

<概 況>

7月の国内企業物価指数は98.8となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は2.6%の上昇となった。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国内企業物価指数	97.1	97.7	98.0	98.2	98.4	98.4	98.5	98.8
前 月 比 (%)	0.7	0.6	0.3	0.2	0.2	0.0	0.1	0.3
前年同月比 (%)	▲ 1.2	0.5	1.1	1.4	2.1	2.1	2.2	2.6

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

6 月 = 139,225億円

*前 月 比: 0.6%増

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 2.3%増

<概 況>

6月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は139,225億円で、前月比は0.6%の増加となり、また、前年同月比は2.3%の増加となった。

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出残高(億円)	137,258	139,099	137,805	137,857	139,752	138,500	138,440	139,225
前 月 比 (%)	0.6	1.3	▲ 0.9	0.0	1.4	▲ 0.9	0.0	0.6
前年同月比 (%)	2.4	1.3	1.3	1.6	1.2	2.0	2.1	2.3

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

6 月 = 2.123%

*前 月 差: 0.008ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.030ポイント減

<概 況>

6月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.123%で、前月から0.008ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.030ポイントのマイナスとなった。

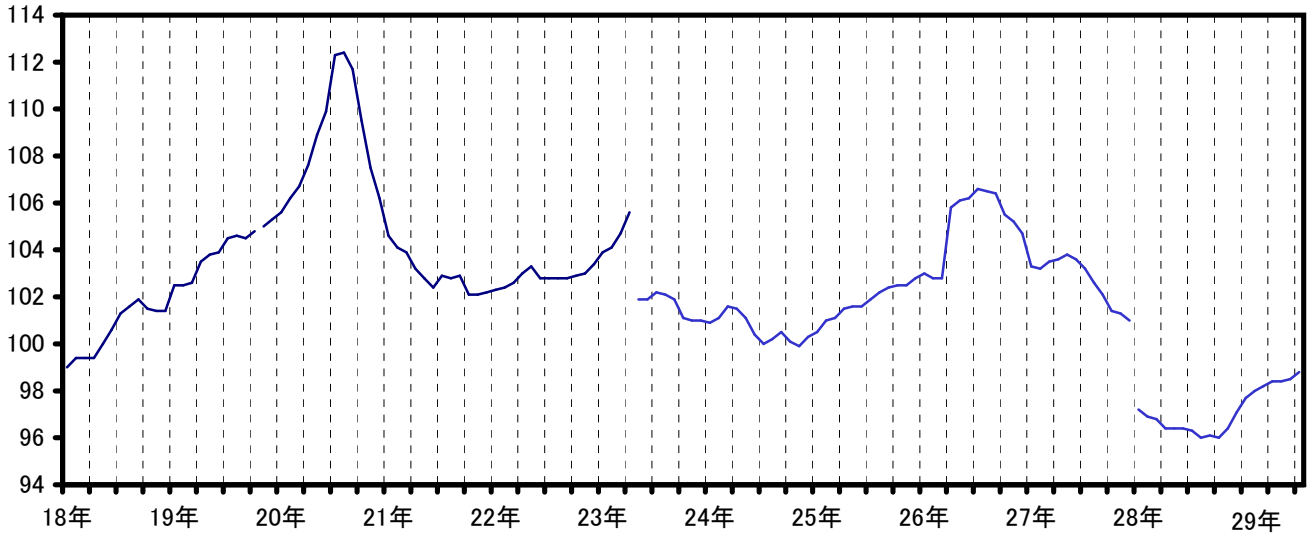
	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出約定金利 (%)	2.146	2.129	2.134	2.138	2.128	2.133	2.131	2.123
前月差(ポイント)	▲ 0.006	▲ 0.017	0.005	0.004	▲ 0.010	0.005	▲ 0.002	▲ 0.008
前年同月差(ポイント)	▲ 0.022	▲ 0.021	▲ 0.025	▲ 0.026	▲ 0.017	▲ 0.023	▲ 0.021	▲ 0.030

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

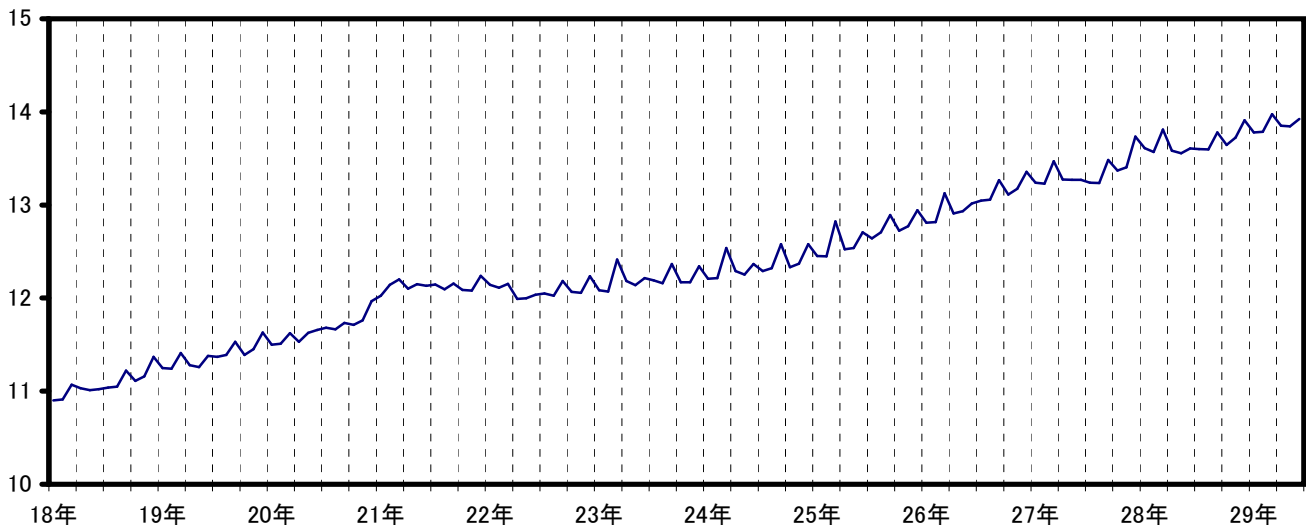
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



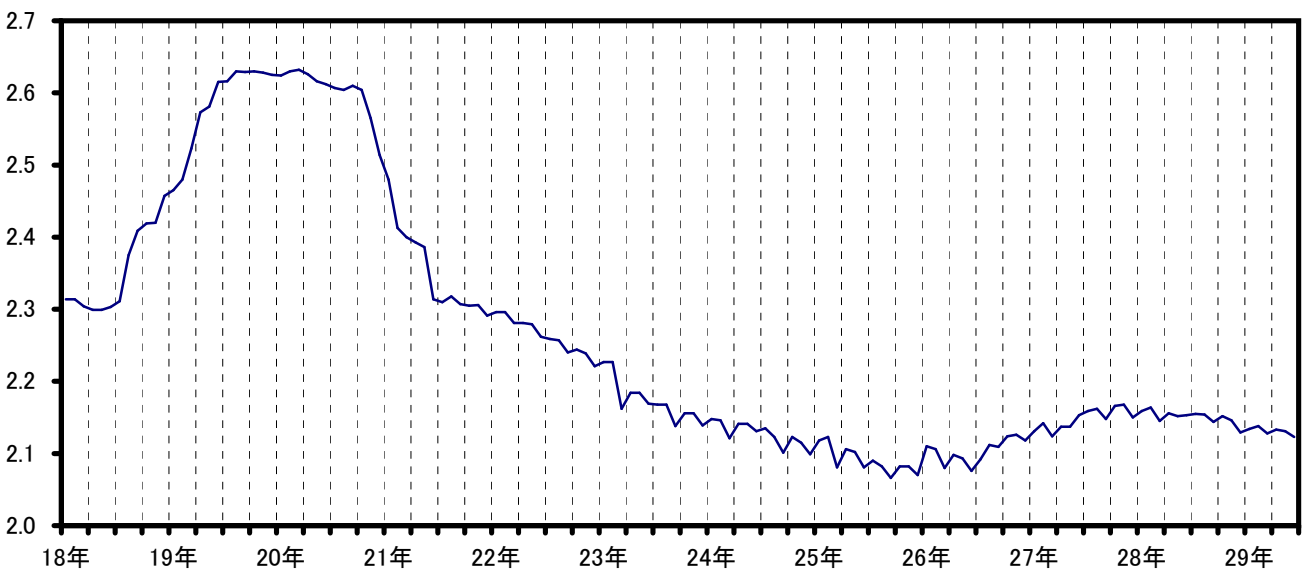
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**6月 = 19,274百万円**

*前年同月比： 16.7%減

<概況>

6月の保証承諾は、金額が19,274百万円（前年同月比 16.7%減）と3か月連続で前年実績を下回り、件数は1,985件（同 14.6%減）と27か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
保証金額（百万円）	19,296	24,335	14,049	18,177	26,040	11,692	14,148	19,274
前年同月比（%）	0.0	▲ 9.4	▲ 8.3	▲ 2.4	4.3	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 16.7
保証件数（件）	1,888	2,363	1,504	1,818	2,412	1,380	1,608	1,985
前年同月比（%）	▲ 6.3	▲ 10.7	▲ 11.2	▲ 10.4	▲ 8.0	▲ 13.7	▲ 12.4	▲ 14.6

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**7月 = 112.44円/ドル**

*前月差： 1.53円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 8.54円安

<概況>

7月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は112.44円で、前月と比べて1.53円の円安となり、2か月ぶりの円安となった。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
平均相場（円）	115.95	114.73	113.06	113.01	110.06	112.21	110.91	112.44
前月差（円）	7.77	▲ 1.22	▲ 1.67	▲ 0.05	▲ 2.95	2.15	▲ 1.30	1.53
前年同月差（円）	▲ 5.89	▲ 3.52	▲ 1.96	▲ 0.06	0.18	3.06	5.42	8.54

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****7月 = 27件**

*前年同月比： 25.0%減

<概況>

7月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は27件（前年同月比 25.0%減）、負債総額は3,157百万円（同 62.8%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が24件と全体の88.9%を占め、236か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

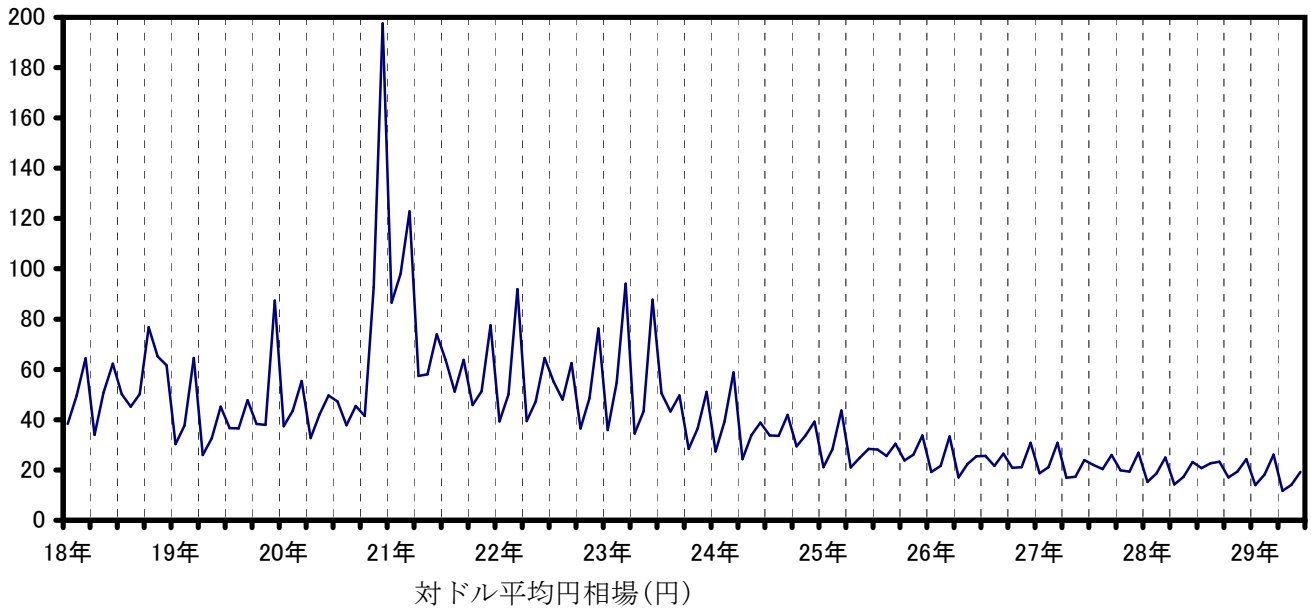
	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
倒産件数（件）	35	16	18	31	23	18	23	27
前年同月比（%）	84.2	▲ 15.7	▲ 33.3	24.0	91.6	▲ 48.5	▲ 25.8	▲ 25.0
うち不況型倒産件数（件）	34	16	17	30	17	17	20	24
負債総額（百万円）	5,704	1,687	7,787	7,258	6,604	2,338	2,940	3,157
前年同月比（%）	60.7	▲ 46.1	164.0	150.3	287.5	▲ 73.4	▲ 42.2	▲ 62.8

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

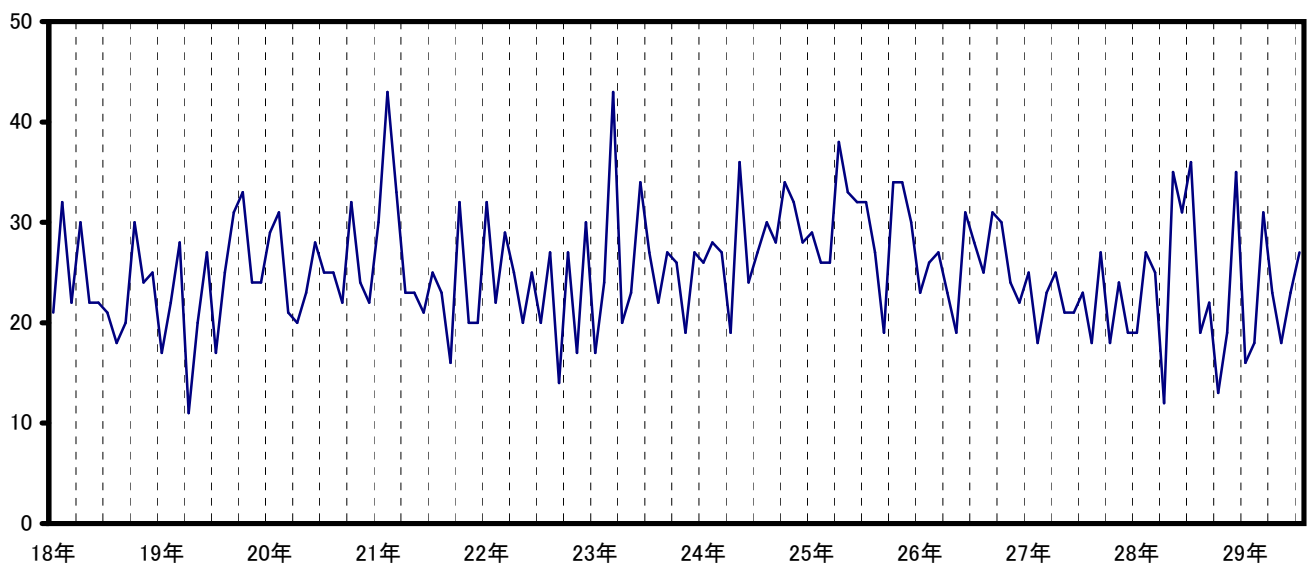
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成29年6月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>6月の国内二輪車生産台数は、53,559台（前年同月比 71.5%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、14,386台（同 243.9%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,109台（同 15.3%増）と、7か月ぶりに前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、8,829台（同 35.5%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、28,235台（同 51.0%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、33,134台（同 41.8%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、37,045台（同 47.9%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>6月の自動車国内生産台数は、859,580台（前年同月比 6.9%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。また、輸出は425,462台（同 42.6%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が8か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>6月の冷蔵庫の国内出荷額は499億4,300万円（前年同月比 19.2%増）と、3か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は427千台（同 29.8%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>6月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,560千台（同 6.1%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。業務用は83千台（同 2.7%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>5月の携帯電話の国内出荷台数は、1,557千台（同 79.6%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,020千台（同 197.5%増）と、5か月連続で前年を上回った。単月のスマートフォン比率は 65.5%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>6月の工作機械の受注総額は1,429億6,700万円（前年同月比 31.1%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は882億7,300万円（同 51.4%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが468億7,000万円（同 83.3%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。内需は546億9,400万円（同 7.8%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「人材確保、定着が厳しい状況になっている」という声や「価格の値下げ以来、価格が戻らないため利幅がない」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>6月の県内楽器メーカーの販売金額は、56億1,200万円（前年同月比 5.1%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが29億8,400万円（同 2.4%減）で、国内向けが26億2,800万円（同 8.0%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,151台（同 8.4%減）だった。機種別では、アップライトピアノが2,145台（同 6.2%減）、グランドピアノが1,006台（同 12.7%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,386台（同 4.7%増）、国内向けが1,126台（同 16.3%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>6月の紙・板紙の国内出荷高は、2,079千トﾝ（前年同月比 0.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。内訳は、紙は1,104千トﾝ（同 1.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。板紙は975千トﾝ（同 2.0%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、607千トﾝ（同 1.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレトペーパー等の家庭紙は、149千トﾝ（同 0.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>6月の県内生産量は、食缶類が国内向け999千箱（前年同月比 9.3%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は702千箱（同 11.4%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は527千箱（同 11.6%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は297千箱（同 3.9%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,969千箱（同 3.3%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>6月の広幅織物の県内生産は、1,137千㎡（前年同月比 4.9%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,078千㎡（同 4.6%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、59千㎡（同 10.6%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、29千㎡（同 3.3%減）と、18か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>6月の全国百貨店での家具販売額は、47億1,190万円（前年同月比 12.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、555億1,216万円（同 3.0%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、地域産業課</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>6月の県内百貨店の売上高は、降雨日の少なさ、順調な気温の上昇、高額商材の好調な売行きなど好条件が重なり、対前年比 2.6%増と、3か月連続で前年を上回った。</p> <p>商品別では、化粧品が同 17.1%増、美術・宝飾品・貴金属が同 23.3%増と好調だった。また、お中元の売上は前年並みだった。</p> <p>中部・東部・伊豆の各地域の食品スーパーへの聞き取りでは、来客数の伸び悩みにより売上が前年同月に比べて落ちていた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>6月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約37万人で、前年同月比 10.8%増だった。今年は、昨年に比べ梅雨入りが遅く、また、梅雨入り後も降水量が少なかったことが一因と考えられる。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約67万台で、前年同月比 3.1%増だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完成車生産台数(台)	20,095	24,249	19,835	19,174	22,068	27,781	21,687	19,492	17,298
前年同月比(%)	2.5	40.6	6.7	▲ 5.7	▲ 3.9	22.9	3.7	16.0	4.9
KD輸出額(百万円)	577	719	716	712	705	651	680	635	714
前年同月比(%)	▲ 10.2	▲ 0.8	▲ 22.4	▲ 3.8	▲ 1.9	▲ 7.7	5.3	18.7	▲ 6.1

<楽 器>

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産総額(百万円)	3,696	3,635	3,294	3,082	3,371	3,723	3,403	3,554	3,731
前年同月比(%)	▲ 10.7	▲ 0.5	▲ 10.2	▲ 8.0	▲ 6.5	▲ 2.6	▲ 11.3	5.3	▲ 10.2

<缶詰>

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
食缶生産高(千ケース)	1,026	970	815	825	866	996	965	888	999
前年同月比(%)	5.1	0.4	▲ 7.2	0.2	3.9	▲ 0.2	▲ 4.5	▲ 12.2	▲ 9.3
うち水産缶詰(%)	0.4	▲ 3.5	▲ 12.4	▲ 3.0	▲ 3.6	▲ 0.1	▲ 5.0	▲ 8.4	▲ 11.4
農畜産缶詰(%)	20.8	13.3	8.0	5.3	25.1	▲ 0.4	▲ 3.4	▲ 21.7	▲ 3.9
飲料缶生産高(千ケース)	6,562	6,641	5,985	4,933	5,761	7,254	8,148	8,392	7,969
前年同月比(%)	3.9	▲ 1.9	▲ 7.4	14.2	12.4	1.1	2.8	0.4	3.3

<織 維>

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
広幅織物(千㎡)	1,522	1,693	1,694	1,563	1,379	1,321	1,338	1,170	1,137
前年同月比(%)	0.5	▲ 5.8	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 4.7	▲ 9.7	▲ 11.4	▲ 2.8	▲ 4.9
小幅織物(千㎡)	31	32	33	33	35	34	33	32	29
前年同月比(%)	▲ 21.4	▲ 21.3	▲ 14.4	▲ 0.2	▲ 3.9	▲ 8.7	▲ 9.7	▲ 2.8	▲ 3.3

<観 光>

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
観光施設(10施設)入込 (千人)	431	349	280	287	268	484	507	638	366
前年同月比(%)	▲ 6.2	▲ 11.4	7.4	1.8	2.7	▲ 3.8	▲ 0.6	2.7	10.8
有料道路(5路線)通行量 (千台)	711	701	741	678	688	777	699	759	670
前年同月比(%)	2.7	2.1	5.6	4.7	0.9	2.4	2.2	3.6	3.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成29年8月号 通巻496号

発行 静岡県経済産業部
平成29年8月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>